

家庭学習の手引き (保護者用)

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を付けるためにとっても大切なものです。
小学校のうちに向かう習慣を付けておくことが、後々の学習に大きな影響を与えます。よい習慣が身に付くよう、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。



1 家庭学習のさせ方

- ① 担任から出された『宿題』を最初にさせてください。
- ② その後、子ども用の「家庭学習のてびき」の中から選んでさせてください。

【5, 6年生には、自分で考えさせるようにしてください。】

※『やまぐち学習支援プログラム』(インターネットで検索できます)に、家庭学習で取り組むとよい学習プリントが紹介されています。どんどん挑戦してみてください。

- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきでもよいので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大切です。
- ④ 家庭学習が終わったら、次の日の準備をさせてください。

2 家庭学習の時間のめやす

◎ 低学年 ……	15分以上
◎ 中学年 ……	30分以上
◎ 高学年 ……	50分以上

3 家庭学習における保護者の役割

- ① 学習時間の確保
塾・習い事・スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短時間でも必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。『何時から何時まで勉強する』ということを、家庭でよく話し合っつて、無理のないように時間設定をしましょう。
- ② 学ぶための環境づくり
・学習するときは、テレビを消しましょう。
・机の周りには、学習に必要なものは置かないようにしましょう。
・その他、お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり、話し合ったりしましょう。
- ③ 見届け・励まし
子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけてやってください。ほめたり励ましたりしてやることで子どもはどんどんやる気をだすものです。
- ④ 学校との連携
お子さんの気になることや頑張ったことなど、担任にお知らせください。